



吉田松陰没後150年記念企画展

至誠の人 吉田松陰



平成21年4月18日〔土〕ー6月21日〔日〕

※会期中、作品保護のため展示替えを行います。

開館時間 9時～17時（入館は16時30分まで）

観覧料 大人500円 高校・大学生300円
小・中学生100円

駐車場 普通車66台 バス8台

平成21年4月1日より有料 ※市民は無料

普通車1回300円 大型車1回1000円

主催 萩市 後援 山口県、山口県教育委員会、財団法人松風会

萩博物館

〒758-0057 山口県萩市堀内355
TEL 0833812516447

吉田松陰没後150年記念企画展

至誠の人 吉田松陰

萩では「松陰先生」の呼び名で多くの人々から尊敬され、親しまれている歴史上の人物、吉田松陰。この偉大な人物が江戸で処刑されてから、150年という年月が経過しました。松陰はこれまでに、「明治維新の先覚者」「理想の教育者」などとさまざまに評価されてきましたが、現在も多くの人々を魅了し続けるのはなぜでしょうか。29年2ヵ月という短い生涯を、「至誠」で貫き通した「人間松陰」の魅力に迫ります。

ギャラリートーク / 13:30~約1時間
4月18日(土)・5月2日(土)・5月16日(土)・5月23日(土)・6月6日(土)・6月20日(土)

展示構成

第1章

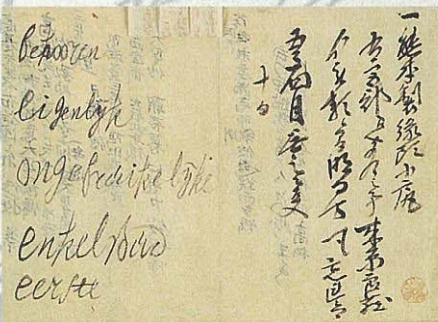
今に伝えられる松陰の姿かたち

第2章

資料でたどる松陰の生涯

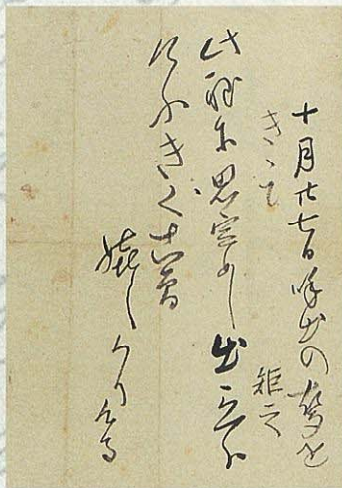
第3章

語りつがれる「松陰先生」の教え



松陰が練習したオランダ文字
(山口県文書館蔵)

江戸遊学中の22歳ころの筆跡。「behooren eigenlyk ongefruikelyke enkelvoudig eerste」とつづられています。「非凡は真に第一番に属す」と訳されます。



処刑直前に松陰が書いた絶筆
(山口県文書館蔵)

松陰は江戸の伝馬町獄で、刑場への呼び出しの声を聞いて最後の筆をとります。「此程に思定めし出立は、けふさくこそ嬉しかりける」と記しました。30歳の若さでした。

松陰が武士の心得を説いた「士規七則」 (山口県文書館蔵)

松下村塾生の萩野時行に与えたもの。現在よく知られる「凡そ生まれて人たらば、宜しく人の禽獸に異なる所以を知るべし」などの言葉が含まれています。



会 期○平成21年4月18日(土)~6月21日(日)
※会期中、作品保護のため展示替えを行います。

開館時間○9時~17時(入館は16時30分まで)

休 館 日○なし ※但し9月4日(金)は臨時休館

観 覧 料○大人500円/高校・大学生300円/小・中学生100円

【団体割引】20名以上20%引 【障害者割引】20%引

駐 車 場○普通車66台 バス8台

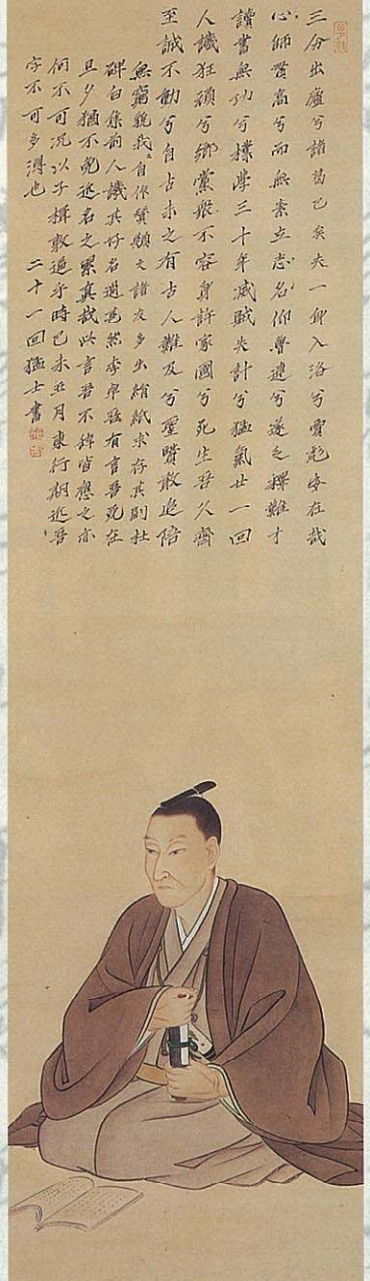
平成21年4月1日より有料(普通車:1回300円 大型車:1回1,000円)

※市民は無料

H a g i H a k u b u t u k a n

萩 博 物 館

〒758-0057 山口県萩市堀内355
TEL 0838-25-6447 / FAX 0838-25-3142
URL www.city.hagi.lg.jp/hagihaku/



松浦松洞が描いた松陰の肖像
(周南市美術博物館蔵)

松陰が30歳の安政6年(1859)、江戸に送られる前に松下村塾生の岡部富太郎に与えたもの。塾生の松洞が絵を描き、松陰が文章(賛)を書いたとされています。



- JR東萩駅よりタクシー10分、徒歩25分
- JR新山口駅よりバス70分
(萩バスセンター下車、徒歩25分)
- 萩・石見空港よりバス75分
(萩バスセンター下車、徒歩25分)
- 萩バスセンターよりまあるバス
西回り10分「萩博物館」下車
- 中国自動車道小郡IC、美祿ICより50分
- 山陽自動車道防府東ICより60分